平成28年度
国立情報学研究所（NII）
実務研修報告

一橋大学総務部広報室
赤木真由子

2017/3/10

自己紹介

- 平成25年8月一橋大学にて採用

  ※前職は、某生命保険会社で4年半ほど勤務

- ～平成28年12月　学術情報課レファレンス係

  （ヘルプデスク対応、ILL、図書館ガイダンスなど）

- 平成28年8月1日～10月7日

  NII実務研修生

サービス系業務だけじゃなくて
そろそろ管理系業務もやりたいかも

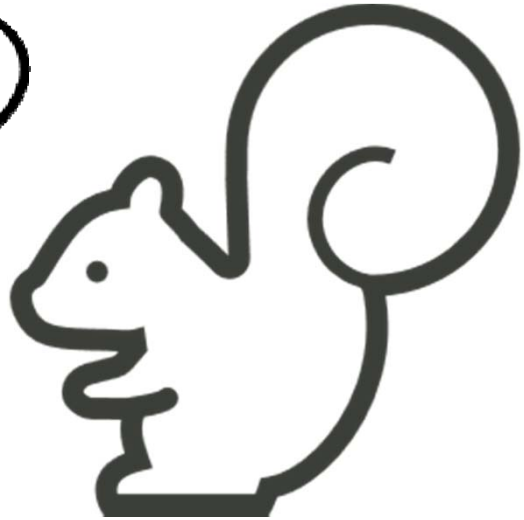
- 平成29年1月～　総務部広報室

発表内容

1. 実務研修について
2. 研修テーマへの取り組み
3. JUSTICE事務局での実務
4. まとめ

1.　実務研修について

実務研修の概要と
参加した理由



NII実務研修

- 目的

国立情報学研究所における実務を経験することにより、高度の学術情報システムの環境に対応しうる知識と技術を修得し、大学図書館や情報センター等が推進する学術情報流通基盤整備の中心的役割を担う。

（国立情報学研究所WEBサイト　実務研修ページより
http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/jitsumu/　）

NII実務研修

●研修内容

テーマおよびカリキュラムは、国立情報学研究所、派遣機関および研修生との間で協議の上決定する。

研修生は、研修報告書を作成して派遣機関に報告するとともに、個別に設定した研修テーマについて、レポートを作成し発表を行う。

（国立情報学研究所WEBサイト　実務研修ページより
http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/jitsumu/　）

配属先で実務を行いながら、自分で決めた研修テーマに取り組み、成果を発表する

最近の実務研修一覧

年度	氏名	所属	期間
2016	赤木　真由子	一橋大学	**8/1～10/7**
電子資料契約見直し事例に関する調査			
2015	浅野　ゆう子	筑波大学	6/1～8/31
電子リソースの利用統計の収集・分析とその活用方法に関する調査			
2014	関澤　智子	新潟大学	5/16～8/13
電子ジャーナル契約見直しに関するモデルケース作成にむけた調査・検討			
2013	増岡 由貴	広島大学	7/8～9/27
機関リポジトリ等に集約された多様なデータを，ユーザに提供するための情報検索についての考察			
2013	兵藤 徳和	お茶の水女子大学	9/17～12/13
学術認証フェデレーション（学認）を用いたシングルサインオンによる全学システム整備			

研修配属先

- 国立情報学研究所　学術基盤推進部

  図書館連携・協力室（JUSTICE事務局）

  ※NIIと一橋大学の間で調整の上、配属先決定

この辺り

NII学術コンテンツ課風景

【参考】JUSTICEについて

●大学図書館コンソーシアム連合

（Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources : JUSTICE）

日本の大学における教育・研究活動に必須である電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進している。

- 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定
- 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充
- 電子リソースの管理システムの共同利用
- 電子リソースの長期保存とアクセス保証
- 電子リソースにかかわる図書館職員の資質向上
- その他，広報活動，情報収集など，本連合の目的を達成するために必要な活動

配属先の希望理由

- 電子リソース契約業務に関心あり
  - 「もっとインターネット上で論文を読みたい」（利用者）
  - 「EJは高くてこれ以上買えない」（図書館）

全国の大学図書館を代表して、出版社と
交渉しているコンソーシアムがあるらしい
⇒<u>実際にどんなことをしているのか知りたい！</u>

2.　研修テーマへの取り組み

「電子資料契約見直し
事例に関する調査」
に取り組もう

「電子資料契約見直し事例」とは？

- 電子資料契約を取り巻く様々な課題
  - 電子資料価格の恒常的な上昇
  - 予算削減
  - 消費税課税　　などなど

  →現在の契約をそのまま継続することは困難

- 「電子資料契約見直し事例」

  ＝課題に対応するため電子資料契約の現状を見直し、契約内容の変更に取り組んだ事例

テーマ設定①

- 電子資料契約業務を担当する人たちの役に立つものを作りたい

  →はじめて人目線から、「何があるとよいか？」

  →担当になってみたら、お金がない・知識がなく何をすれば良いかわからない等、課題に直面

  →他大学図書館の事例が知りたいのでは？

- JUSTICEとしても会員館からの他大学事例を求める声に応えたい

テーマ設定②

- 事例調査の現状
  - 研修会等で個別に発表
  - 論文で各大学の取り組みを紹介
  - ある大学の取り組みについて噂を聞く

    ＝自力で地道に探さなければ集められない

- 目標
  - 「電子資料契約見直し事例集」の作成

作成手順

- 事例収集
- 事例内容まとめ
- 聞き取り
- ウェブページ作成

事例収集

- 電子資料契約の見直し事例を収集
  - ✓雑誌論文等
  - ✓大会や研修会等

  で過去に発表されたものを、インターネット等で調査

- 収集結果
  - 合計：16大学、18事例

事例内容まとめ

- 事例集　＝　様々な事例を知るためのきっかけとなる便利ツール　にしたい！

→ただの一覧ではなく、事例のポイントを確認でき、希望に応じてさらに詳細を知ることもできる仕様

→それぞれのウェブページには以下を掲載する

- ✓ 事例の内容まとめ
- ✓ 参考資料へのリンク

留意点：
・共通のフォーマットを作成する
・できるだけ元の表現に沿ってまとめる

事例内容まとめ

- 共通フォーマット
  - 機関情報（学部数・学生数など）
  - 事例のまとめ（8つのポイント）
    - ✓ 電子資料契約見直しに至った理由
    - ✓ 電子資料契約の予算
    - ✓ 学内で行った手続き
    - ✓ 検討した際の調査/手順
    - ✓ 契約見直しの結果
    - ✓ 利用者に対して行ったフォロー
    - ✓ 得られた効果
    - ✓ 今後の課題

＋

参考資料へ
リンク

聞き取り

- 各事例の発表機関に聞き取り実施
  - 版元提案説明会（9月7日、8日）にて対面で聞き取り
    （計13機関、14名）
  - メールでまとめ資料等を送付して確認
    - ✓ 事例集への掲載可否
    - ✓ 事例について不明な点を質問
    - ✓ まとめ内容の確認

聞き取り風景

ウェブページ作成

- 『電子資料契約見直し事例集』を作成

  JUSTICE会員館限定ウェブページ内

  http://www.nii.ac.jp/content/justice/staff/7_information/jirei.html

  ✓事例一覧ページ　×１

  ✓個別事例ページ　×１８

➡ 2016年10月7日にJUSTICE会員館限定公開

（研修最終日）

成果物

●事例一覧ページ

会員館限定ページ

電子資料契約見直し事例集

2016年10月7日作成

JUSTICE会員館が雑誌や研修会等で発表された，電子資料の契約見直し事例集です（発表年月の新しい順に並べています）。
機関名をクリックすると，各事例の概要や詳細を表示します。
雑誌で公表されているものもありますが，大半はJUSTICE会員館限定公開を条件として掲載許諾をいただいたものですので，情報の取り扱いにはご注意いただいた上で参考になさってください。

※このページについて

大学名から
個別事例ページへ
リンク

2016年度

機関名	大学名	発表年月	2016年7月
見直し内容	図書費予算配分の見直し		
機関種別	私立総合大学		

機関名	大学名	発表年月	2016年7月
見直し内容	電子資料契約タイトルの見直し		

成果物

- 個別事例ページ
  - ✓参考資料へのリンク
  - ✓機関情報
  - ✓契約見直し内容のまとめ

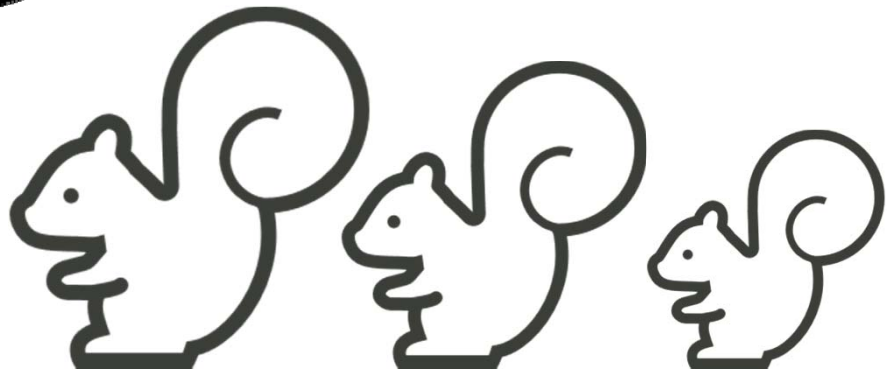
今後の利用方法（案）

- 様々な事例へのアクセスポイント
  - 継続した事例収集と更新　→最新情報を確認
  - 会員館からも発表事例を提供してもらう参加型ツール

- 他館の情報を確認する参考資料
  - 他館の事例と比較し、自館での取り組みに反映
    ↑定例的に自館の情報を確認し、適した
    取り組みを行う必要性
  - 電子資料契約見直しのポイントがわかる教材

3.　JUSTICE事務局での実務

JUSTICE事務局
で経験したこと



JUSTICE事務局

- JUSTICEの活動に必要な日常業務を遂行する
  - 出版社との事前交渉
  - JUSTICE運営委員会･各作業部会等の活動の調整やまとめ
  - JUSTICEに関する広報活動　　など、盛りだくさん！
- 専任職員3名（全て会員館からの出向者）

2016年度事務局

JUSTICEスケジュール

参考：広報誌『jusmine』 第24号

研修期間　＝　交渉ピーク～小休止期間

業務内容①

- 出版社との交渉・打合せへの出席
  - 出版社との交渉・打合せ　計9回
  - 議事メモの作成

出版社交渉1

出版社交渉2

業務内容②

- JUSTICE関連行事の運営、参加
  - 版元提案説明会
  - JUSTICE運営委員会、各作業部会
  - 私立大学図書館協会総会・研究大会（ブース出展）

版元提案説明会

私立大学図書館協会総会・研究大会

業務内容③

- 契約状況調査集計補助
- 各種セミナーへの参加
  - シュプリンガー・ネイチャー　ライブラリアン・セミナー
  - SPARC Japanセミナー
- 他大学図書館見学

4.　まとめ

研修を通じて学んだこと

- 様々な視点から考える

（図書館/出版社/事務局、話を受ける側/提案する側、仕事をふる側/ふられる側･･･）

- リターンはすばやく

（熟慮して最善を選択、作業は便利機能で短縮化、予想を立てて行動する）

- 膨大な量の情報を処理･共有する
- 図書館業界の現状を知る
- 幅広い横のつながりの大切さ
- その他こまごま

今後どのような業務を行うにしても、
役に立つスキルを学ぶことができる

終

一橋大学総務部広報室
赤木真由子